

◎勝利の経典『御書』に学ぶ 妙密上人御消息

法華経二十八品全体が、その万人成仏の法理の功德を、釈迦・多宝・十方の諸仏をはじめ、あらゆる衆生が口をそろえて賞讃し、全人類に妙法の受持を勧めている経典であるといえます。

文底から拝するならば、法華経全体が、南無妙法蓮華経の功德を賞讃しているのです。

(『勝利の経典「御書」に学ぶ 6』118 ページ)

◎第 68 回本部幹部会 (1993 年 7 月 7 日) でのスピーチ

頑張っている人を、たたえればたたえるほど、自身にも組織にも「福運」と「勢い」がつく。

仏子を「ほめたたえる心が強い」ことが、「仏界が強い」証拠でもある。「御本尊をたたえ、広宣流布の勇者をたたえることのできる人」が「仏界の強い人」である。

(『池田大作全集』第 83 巻 65 ページ)

◎随筆 「人間革命」光あれ 師弟共戦の旅を永遠に

小さなグループを大切にして御書根本に学び合い、仲良く快活に前進する創価の女性のスクラムは、大聖人のお心に連なる、「異体同心」の模範である。この尊き草の根の絆から、地域に「希望の太陽」「幸福の太陽」「平和の太陽」が昇りゆくのだ。

(聖教新聞 2021 年 4 月 29 日付)